

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 名古屋市千種区社会福祉協議会



【基本方針】

新型コロナウイルス感染症により、昨年末時点において、約 23 万人が感染、亡くなった方は約 3,400 人に上るなど、人々の生活と社会経済活動に大きな影響を及ぼしています。

生活困窮者対策として実施された生活福祉資金の特例貸付事業は、今年 1 月末時点で、全国の申請件数は約 145 万件（千種区 約 2,400 件）、申請額は約 5,440 億円（千種区 約 6 億 6 千万円）に達しており、その深刻さがうかがわれます。

また、社会活動の縮小や介護サービスの利用控えに伴い、高齢の方々の健康被害、認知症の進行など、コロナ禍における“人が人を支援することの難しさ”という新たな課題に直面しています。

こうした状況を踏まえ、新たな生活様式を取り入れ、各学区の地域福祉推進協議会をはじめ、福祉関係機関・団体、福祉サービス事業所、ボランティア、NPO、そして、千種区役所などの行政と連携を密に取りながら、コロナ禍を見据えた事業展開とその方策を模索しながら、本会の理念である“誰もが安心して生活できる千種区”を目指してまいります。

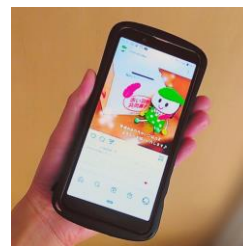


1 「第4次地域福祉活動計画」(第4次計画)の推進

誰もが安心して生活できる千種区を目指し、第4次計画(計画期間:令和元年度から令和5年度)を、区民のみなさまをはじめ、関係機関・団体、福祉サービス事業者や行政などと連携・協働しながら推進します。

新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度は「3つの推進チーム会議」、「全体会議」がほとんど開催できず、事業の進行に大きな遅れが出ており、いまだ新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、今年度は、新しい生活様式を取り入れた事業展開を推進委員のみなさまと検討・実施していきます。

また、新たな協力者の確保に向け、昨年度から取り組みを始めたInstagramの活用や地域会合・イベントなどに出向き、PRしていきます。



ユーカリリーナが頻繁に登場するInstagram

(フォロワー数:1,264 ※令和3年2月末現在)

主な取り組み

(1) 地域に目を向け、地域を知る「きっかけ」づくりチーム



★「地域デビュー講座」の開催

地域活動への新たな参加者を増やすため、地域関係団体や企業などと連携し、「地域デビュー講座」を開催します。講座を進めるにあたっては、地域活動のメニューを掲載した冊子を新たに作成・活用するとともに、地域で活動する方々に参加していただき、“生の声”を届けていきます。

★「福祉情報配置店」の拡大と「福祉イベント」の開催

本会広報誌などの各種福祉情報誌を置いていただく「福祉情報配置店」のさらなる拡大に向け、福祉情報誌を届けていただく協力者を募ります。

また、配置店と連携し、地域住民同士の交流や地域活動への参加を呼びかける「福祉イベント」の開催を目指します。



福祉情報配置店に配架された情報誌

(2) 地域を学び、地域で活躍する「ひとづくり」チーム

★「活動者交流会」の開催

地域で活動する方々やボランティアなどを集めた交流会を開催します。活動者同士が顔を合わせ関係を深める中で、新たな協働活動に向けた提案と協力を行います。

★「養成講座」の開催

地域支えあい事業実施学区で、高齢者などの日常生活上の支援につながる講座を開催することで、新たなご近所ボランティアの確保に努めます。

(3) 地域を基盤とした「つながりづくり」チーム

★「“つながりカルタ（仮称）”を用いた交流事業」の推進

地域イベントやサロンなどでカルタを使った交流事業を行いながら、人とのふれあいやつながりの大切さを伝えていきます。日々つながりの大切さを実感されている方々の講話も交えることで、地域住民同士の一層の交流促進を目指します。



区役所に設置された「つながり川柳」の応募箱

★「多世代交流事業」（プレーパーク）の開催

町内会・自治会やNPOなどの協力をいただき、子どもから高齢者、障がいのある方、外国人などの幅広い世代が公園などに集い、伝承遊びやスポーツなどの交流事業をとおり、「顔の見える関係づくり」を目指します。

2 「地域福祉活動」の推進

(1) 「地域福祉推進協議会」（推進協）との連携

誰もが安心して生活できる千種区を目指し、各小学校区に組織される推進協と連携し、地域の福祉課題解決に向けた方策の検討、実践の支援などを行います。

各学区ごとで行われる住民交流事業をはじめ、「ふれあい給食サービス事業」や「ふれあいネットワーク活動」などの円滑な展開に向け、従来どおり各学区ごとに担当職員を配置し、きめ細やかな支援を行うとともに、第一線で活動する方々を対象とした研修会も開催します。

(2) 「地域支えあい事業」への支援 市受託事業

ちょっとした困りごとを住民同士の助け合いで解決を目指す「地域支えあい事業」の実施学区拡大を目指し、各学区の会合やイベントなどに出向き説明会を行います。

また、本事業に取り組む4学区（千代田橋・自由ヶ丘・富士見台・春岡）への継続的な支援を行い、ご近所ボランティアを対象とした研修会や新たな担い手確保に向けた「養成講座」を開催し、生活支援団体などとの協働を模索します。



活動連絡会議（千代田橋学区）の様子



各学区で作成した広報グッズ

(3) 「高齢者サロンの整備等生活支援推進事業」の推進 市受託事業

① 「高齢者ふれあい・いきいきサロン」（サロン）への支援等

住民同士の仲間づくりや介護予防などを図るサロンの活性化を目指します。運営上の悩み解決や新たなプログラム取得のため、サロン運営者が集まり情報交換する「サロン☆サロン」の開催（5回）やサロン運営者の資質向上を目指す研修会を行います。

また、サロン参加者の増加と新たな担い手確保に向け、区民まつりをはじめ、地域イベント等に出向いての「サロン出張説明会」を開催します。その際、サロンの開催日時や場所などを掲載した「サロンマップ」（1月更新）やサロン関連のタイムリーな情報を掲載する「サロン通信」（3回発行）を活用します。



更新発行（令和3年3月）した「サロンマップ」

② 「生活支援連絡会」の開催

「地域支えあい事業」などの生活支援サービスの充実とサロンの拡充に向け、関係機関・団体と協議・実践する「生活支援連絡会」を年3回開催します。

また、活動状況を地域包括ケア推進会議に報告し、連携を図ります。

(4) 「高齢者はつつ長寿推進事業」(はつつ事業) の実施 **市受託事業**

65歳以上の方々の介護予防や仲間づくりなどを旨とする「はつつ事業」を、コミュニティセンターなどの8会場で実施します。

また、昨年度「あいち造形デザイン専門学校」と協働作成した“子ども向けPR冊子”(子どもたちから祖父母へ参加勧奨してもらう冊子)を活用し、子どもたちが集まる機会を捉え、一層のPRに努めるとともに、第2弾のPR冊子を作成します。



体操に取り組む参加者



中日新聞(令和3年1月22日)に掲載されたPR冊子記事



(5) 「寝具クリーニングサービス事業」の実施

布団を干すことが困難な65歳以上のひとり暮らしの方などを対象とした「寝具クリーニングサービス」事業(11月)を実施します。事業を円滑に進めるにあたり、民生委員のみなさまの協力をいただき、高齢者の一層の見守りと生活環境の向上などを目指します。

(6) 「キラキラ☆サンタ事業」の実施

花水木鯉城会などにご協力いただき、民生委員のみなさまが中心に取り組む子育てサロンや保育園などへサンタクロースやトナカイを派遣する「キラキラ☆サンタ」事業(12月)を行います。



サンタと楽しく触れ合う参加者

(7) 「名古屋市いこいの家事業」の実施 **市受託事業**

千種児童館などで、言葉や心身の発達の遅れが気になる子どもとその保護者を対象に、親子遊びや相談会などを行うことで、保護者の不安や悩みの解消、保護者同士の仲間づくりを進めます。

(8) 「福祉関係団体等」への支援

共同募金の配分金を使って、高齢者福祉活動（学区敬老事業助成、ふれあい給食事業助成など）、障がい児・者福祉活動（手をつなぐ育成会が行う福祉活動への助成など）、児童・青少年福祉活動（子ども会活動、学童保育活動への助成など）、住民全般福祉活動（推進協あんしん事業助成など）などへの事業助成を行います。

また、地域福祉活動を行うボランティア団体などを財政面で支援する「ボランティア・NPO応援助成事業」を公開プレゼンテーション方式を取り入れ開催します。



「ボランティア・NPO応援助成事業」でのプレゼンテーション

3 「ボランティア活動」の推進

(1) 「ボランティアセンター」の運営

ボランティア活動の推進拠点として、ボランティア活動に関する各種相談、需給調整、情報提供などを行いながら、ボランティア活動の促進を図るボランティアセンターを運営します。

(2) 「ボランティア」への支援

区内で活動するボランティア団体などで組織される「千種区ボランティア連絡協議会」と協力し、「ちくさだれでもひろば」（7月・3月）を開催することで、ボランティア同士の交流をはじめ、新たな活動者の獲得を目指します。

また、在宅サービスセンターのボランティアルーム、研修室、調理実習室などの活動場所の無償貸し出しと各種相談に対応しながら、活動支援を行います。



「ちくさだれでも広場」で楽しむ参加者

(3) 「福祉教育」の実施

ボランティア団体などと連携し、小・中学校や地域に出向き、高齢者疑似体験やアイマスク体験、障がいのある方との交流などをおし、子どもたちの福祉に関する理解促進とボランティア活動への参加促進を目指します。

(4) 「各種養成講座」等の開催

広報なごや区内版などの点訳を行うボランティアの人員確保に向けた「点訳ボランティア養成講座」(10月～12月 全12回)を開催します。

また、千種区ボランティア連絡協議会をはじめ、地域団体などとの意見交換を行いながら、必要に応じ、各種ボランティアの養成を行います。



点訳を学ぶ受講生

(5) 「災害ボランティアグループ」との連携

「災害ボランティアちくさネットワーク」と定期的な会合をもちながら、大規模災害発生時に名古屋市からの要請で設置する「災害ボランティアセンター」の運営訓練を実施します。また、学校や区総合防災訓練などの各種イベントなどに出向き、防災講話やゲームなどをおしての啓発活動を行います。



地震への備えについて学ぶ参加者

4 「広報活動」と「財政基盤強化」の推進

(1) 本会広報誌「はなみずきのまちだより」の発行

さまざまなタイムリーな福祉情報を掲載した広報誌を年3回発行(7・11・3月)します。本会、区役所をはじめ、各学区のコミュニティセンターなどに配架するとともに、学区の回覧板等により区民へさまざまな福祉情報をお届けします。

(2) 「福祉情報配置店」の設置

身近な場所で、ひとりでも多くの方々に福祉情報を届けられるよう、「福祉情報配置店」の拡大を目指します。

(3) 「ホームページ」「Instagram」の運営

ホームページは、常にタイムリーな情報掲載に努めるとともに、Instagramは定期的に、ホットな話題の発信に努めます。

(4) 本会マスコットキャラクター「ユーカーリーナ」を用いたPR

① グッズの制作

今年度も子どもから大人まで喜んでもらえるようなグッズを製作し、共同募金運動に協力します。

② おみくじ募金箱の設置

本会窓口付近に設置している「おみくじ募金」を区民まつりなどのイベントにもユーカーリーナパネルとともに設置します。



ユーカーリーナグッズ



おみくじ募金箱と顔出しパネル

(5) 賛助会員の募集

町内会・自治会をはじめ、民生委員のみなさまなどに協力をいただきながら、本会が取り組む各種事業の財源基盤となる賛助会員を募集します。

【参考】個人1口500円 法人・団体1口5,000円

(6) 赤い羽根共同募金（共同募金）運動への協力

千種区共同募金委員会の事務局を運営し、共同募金の積極的な周知・広報に努め、町内会・自治会をはじめ、民生委員のみなさまなどの協力をいただきながら運動を進めるとともに、新たな法人等からの募金やイベントへの参加を目指します。



スーパー付近での街頭募金



5 「生活福祉資金貸付事業」の実施

愛知県社会福祉協議会から業務を受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯、離職者等に対し、民生委員のみなさまをはじめ、名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター、行政機関などと連携し、資金貸付と援助指導を行うことで、援助世帯の安定した生活基盤の確立を目指す生活福祉資金貸付事業を行います。

6 「デイサービスセンター」の運営

利用される方々とそのご家族の生活がより充実することを常に念頭に置き、通所介護事業を実施します。健康チェックをはじめ、入浴、昼食、レクリエーション、口腔ケア機能向上事業などを行いながら、利用者の自立した日常生活の維持・向上を目指します。また、昼食はボランティアグループ「はなみずき」の協力のもと、愛情のこもった“手作り料理”を提供します。



愛情込めて調理するボランティアさん

7 「都福社会館・千種児童館」の管理運営 **指定管理事業**

名古屋市から指定管理2年目として、本会が指定管理者とし管理運営を行います。

【福社会館の主な実施事業】

- (1) 生活、健康相談などの相談事業
- (2) 教養の向上及びレクリエーションに関する事業
- (3) 機能回復訓練（リハビリ体操、健康体操）
- (4) 健康づくり事業（医師の健康講話、音楽療法等）
- (5) 仲間づくり、憩いの場の提供（同好会活動）
- (6) 名古屋市北部回想法センターの運営
- (7) 高齢者サロンでのレクリエーションなど地域と連携した事業
- (8) 認知症予防事業 市受託事業



医師の健康講話：「脳卒中」について

【児童館の主な実施事業】

- (1) 子どもの育成活動（多様な企画、季節行事等）
- (2) 子育て支援活動（ベビーマッサージ、育児相談等）
- (3) 地域福祉促進活動
- (4) 留守家庭児童健全育成事業
- (5) 名古屋市中学生の学習支援事業（ひとり親家庭等）
- (6) 高校生の学習継続支援事業
- (7) 中高生の居場所づくり事業
- (8) 移動児童館などの地域と連携した事業



小学校で開催の移動児童館

8 「名古屋市社会福祉協議会事業」への協力

(1) 「千種区西部いきいき支援センター（地域包括支援センター）」への協力

- ① 区域の地域包括ケアシステムの構築
 - ア. 区地域包括ケア推進会議 事務局の運営協力
 - イ. 区地域包括ケア推進会議 認知症専門部会の運営協力
- ② 高齢者に関する相談事業（総合相談・権利擁護）
- ③ 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
- ④ 包括的・継続的ケアマネジメント支援
 - ア. 民生委員と介護支援専門員の情報共有ルールづくり
 - イ. 介護支援専門員研修の開催
 - ウ. ケアマネサロンの実施
- ⑤ 高齢者見守り支援事業の実施
- ⑥ 認知症の人を介護する家族支援事業の実施
- ⑦ 認知症地域支援推進員との連携
- ⑧ 認知症サポーターの養成・活動支援
- ⑨ 認知症カフェの開設・運営支援
- ⑩ 認知症初期集中支援チームの設置



認知症市民講座で体操を披露する
「ちくさ区認知症予防体操インストラクター」

(2) 「千種区介護保険事業所」への協力

① 訪問介護（なごやかヘルプ）事業の実施

- ア. 高齢者への訪問介護・介護予防訪問介護事業の実施
- イ. 予防専門型訪問サービス（介護予防・日常生活支援総合事業）の実施
- ウ. 障がい者等の居宅介護事業
- エ. 産前・産後、ひとり親、養育支援などの家事介護サービス
- オ. 制度では対応できない外出支援などの生活応援サービス

② 居宅介護支援事業の実施

- ### ③ なごやかスタッフ（訪問介護員：ヘルパー）及びそのOB・OGの 地域社会貢献活動の参加支援

